

成果報告書			
主体	大項目	小項目	事項
教育委員会	基礎情報	自治体概要	人口49,726人（R4.2.1時点）、面積84.14km ² 、人口密度590人/km ²
		中学校数及び生徒数	中学校3校、3校生徒数計1,552人
	スポーツ環境	特徴的なスポーツ	第2種公認の陸上競技場を所有し、陸上競技の合宿が盛んで、競歩の全国大会が開催されている。
		スポーツ施設	体育館9、多目的競技場5、相撲場2、弓道場2、武道館3、プール4、野球場3、ソフトボール場2、グラウンドゴルフ場3、パークゴルフ場1、夜間照明施設7、テニスコート2、グラウンド1、陸上競技場1
		部活動による施設活用状況	学校の近隣スポーツ施設は優先的に部活動を使用させている
		地域スポーツクラブ	ジュニアスポーツクラブ42、総合型地域スポーツクラブ1、体育協会35
		部活動との連携状況	部活動指導員や外部指導員として体育協会の加盟競技団体の協会員が指導している場合がある。
	地域移行に向けて	将来像	地域移行に関する計画は策定していないが、地域スポーツ団体や学校と協議し、令和5年度以降に備えている。
		直面している課題	①受け皿となる団体や指導者の確保 ②地域運動部活動の位置づけ ③関係者への問題共有
		課題の具体的内容	①指導者を確保することが難しい。また、指導者だけでなく学校や行政などと調整し、会費や謝金などの会計などの事務作業をすることが負担となっている。 ②地域への移行は完全な学校管轄外活動としてとらえるのか、もしくは顧問の教員は極力携わらないようにするが、部活動指導員のようにあくまで学校の管轄としてとらえるのか曖昧であり、保護者などの関係者に対して説明をすることが困難である。 ③前身の事業として、スポーツの競技力向上を目的に学校と完全に切り離された事業をしており、その事業を地域運動部活動推進事業として移行し、学校と密接にかかわる事業となったため、学校との意識の共有が不十分である。
		今後の方向性	①受け皿となる団体や指導者の確保のため、地域スポーツ団体との交渉や、学校との調整を行う。 ②今後市としての方向性を学校やPTA、地域スポーツ団体と検討や調整を行う。 ③当事者意識を持ってもらうため、学校との協議の場を設ける。
		必要な支援・要望	①指導者の謝金や参加者の安全保険料など財政的支援 ②スポーツ指導者や事務を行う人などの人材支援 ③兼職兼業に係る法的整備 ④学校での部活動の今後の位置づけを明確化 ⑤事業に係る正確な情報の発信
		支援・要望の具体的内容	①指導者や事務を行う人への謝金は、活動を持続させていくためにも必要な費用であり、また学校管轄外の場合は学校の保険が適用できないため、別途保険に加入する必要がある。その費用は地域移行が進むにつれ膨大な金額となるため、財政的な支援が必要である。 ②地域によって人材はさまざまであり、地域ですべての指導者を賄うことは困難であるため、人材の派遣など支援が必要。 ③部活動の指導に熱心な教員などは、指導経験や技術力を持ち合わせており、地域のスポーツにとっても貴重な人材であるため、今後も地域部活動に携わることができるような環境づくりが必要。 ④上記の課題②にもあるとおり、地域部活動の位置づけがはっきりしていない部分があるため、整理しはっきりとした線引きがないと事業を円滑に進めることができない ⑤学校や保護者などに対する認知度が低く、問題意識を共有できず、また間違った情報として広まっている側面もあり、情報の発信は正確にかつ徹底して行われるべきである。

運動部活動に関する検討会議における検討課題

1. 運動部活動改革の目的・目標

○地域の実情に応じて方法は様々であると思われるが、生徒たちが適切な指導を受けることができ、教員の負担軽減になるような体制を構築していくことが目的であると考えられる。

2. 地域への移行の在り方

○部活動の競技や地域ごとの特徴など違いが多いため、それぞれに合った地域移行の方法があると思われる。すべての学校の部活動が、一律地域へ移行することは現実的ではないため、地域移行が可能と思われる部活動から順次移行していくような流れをつくる。

3. 運動部活動の地域での受け皿

○競技によって地域移行に意欲的な競技もあれば、そうでない競技もある。まずは意欲的な団体にアプローチをかけ、地域への移行を促す。そういった事例を多くの方に情報発信する。

○会計事務やスケジュール管理などの事務をする人が必要で、各団体で分かれていると効率が悪いいため、事務を統一するような仕組みづくりが必要。

4. 指導者

○指導者には技術的な指導だけでなく教育的な指導も求められると考える。スポーツの技術的な指導であれば、公認の資格などを希望者が取得しやすい仕組みも必要と思われる。教育的な指導に関しても、資格制度があれば取得を促していく必要があるが、そういった資格制度がない場合は、研修を設けるなどの対応が求められる。

○地域だけで指導者を確保することは難しく、特に平日は働いている人がほとんどである。ただ、指導を希望している人が0であることはないと思われるため、地域のスポーツ団体と協力して指導者の発掘をしていく必要がある。

○指導者資格や審判資格を有するなど専門的な知識や経験があり指導を希望する現職の教師が兼職兼業の許可を得て円滑に地域でスポーツ活動を指導できるようにするためにどうすべきか。また、その際に所属校での教師としての本来業務へ影響が生じないようにし、また心身に過重な負担とならないようにするため、どのようなことに留意すべきか。

今まで指導を行ってきた教員も指導者として貴重な人材であり、指導を希望する人は指導できるような体制が必要である。無理強いさせないためにも本人への意思確認と、本業へ影響が出ないことが条件になるとと思われる。

5. 施設

○地域の活動である場合は、施設の利用に関して優遇措置をしておらず、使用料の減免も行っていない。学校の活動である場合は、優先的に使用できるように対応しており、使用料の減免対応も行っている。今後地域運動部活動がどのような位置づけになるかで対応していきたい。

6. 大会

○地域に移行した場合、大会の参加資格が与えられるかどうか不透明な部分があり、そのため地域への移行を躊躇う要因の一つとなっている。

7. 会費

○活動をするにあたり、参加者の安全保険料や指導者への謝金など、費用がゼロで抑えられる可能性は少ない。保護者も部活動としての捉えであるならば、多くの費用を支払うことに抵抗があると思われるため、財政的な支援も検討する必要がある。

8. 保険

○地域のスポーツ団体が多く利用している、公益財団法人スポーツ安全協会のスポーツ安全保険が適当であると思われる。子どもだけでなく指導者である大人に対する賠償保険も備わっており、安心して活動することができる。

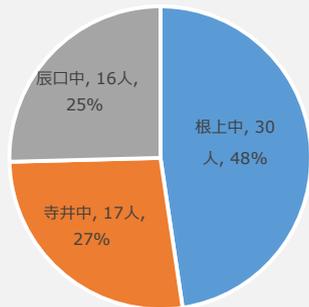
9. 関連諸制度等の見直し

○兼職兼業の許可を出すにあたり、法律の解釈などを整理する必要があると思われるが、教員の異動についても配慮する必要がある。教員が希望し許可を出したとしても、異動先の自治体の許可が下りないことがあっては持続性に乏しい制度となるため、教員の希望に沿った地域限定の教員など、教員の人事制度の改革も必要と思われる。

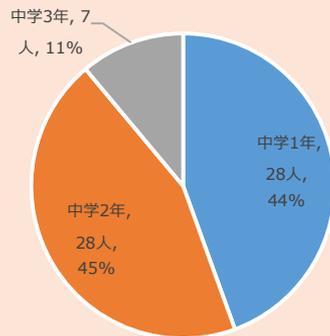
実践研究の詳細データ					
拠点校	基礎情報	対象部活動	陸上競技	ソフトボール	ハンドボール
		拠点校	根上中学校 寺井中学校 辰口中学校	根上中学校 辰口中学校	根上中学校 寺井中学校
		部員数	135人	49人	78人
		顧問の競技経験	×根上中学校 ○寺井中学校 ○辰口中学校	×根上中学校 ○辰口中学校	○根上中学校 ○寺井中学校
		活動頻度	週5日	週5日	週5日
		部費の負担 (保護者会で徴収 している場合もあ る)	根上中学校 →年4,000円 寺井中学校 →年2,000円 辰口中学校 →年5,000円	根上中学校 →年12,000円 辰口中学校 →年6,000円	根上中学校 →年20,000円 寺井中学校 →年36,000円
地域部活動	実践研究内容	実践に至る経緯	競技力の向上を希望する生徒の受け皿がないため、学校の負担にならないよう部活動とは切り離された活動として実施する。		
		実践内容	民間インストラクターによる 基礎トレーニング 種目別スキル練習	基礎的技術練習	基礎的技術練習
		運営団体	陸上競技協会	ソフトボール協会	ハンドボール協会
		運営団体の確保	以前から個人で競技の普及を 目的とした活動をしていたた め、その活動を移行した。	以前から協会で競技の普及を目的 とした活動を立ち上げていたため、そ の活動を移行した。	協会内に部活動指導員や外部指導員 があり、部活動と密接な関係で移行 がスムーズと考えたため。
		参加者数	39人	48人	53人
		指導者数	8人	7人	7人
		活動場所	学校体育館 市営体育館 市営陸上競技場	市営ソフトボール場 市営屋内競技場	市営体育館
		活動場所の確保	学校の施設は学校と協議の上 許可が下りた施設のみ使用。 市営施設は他団体と調整の上 使用。	市営施設は他団体と調整の上使用。	市営施設は他団体と調整の上使用。
		場所確保の課題	学校としての利用であるなら、優先的に施設を確保し、使用料も減免となるが、地域運動部活動がどのような取扱いによるかで対応が異なる。また、教員がいないと使用できない学校施設があるため、セキュリティをクリアできるような施設改修などの対応が必要である。		
		活動日	日曜日9時00分～12時00分 水曜日18時30分～20時30分	日曜日13時00分～17時00分 木曜日19時00分～21時00分	日曜日13時00分～17時00分
		活動実績	29回	31回	10回
		会費	1,000円/月 スキル別講座200円/回	2,000円/月	無し
		実践研究の成果	<p>①【どうしたら関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか】 部活動指導員や外部指導員、また顧問の中には地域のスポーツ団体に所属している方が多くいると思われる。その指導者と所属している団体から地域への移行を促していけば、今までと変化があまりないため、保護者の理解も得やすく地域に移行しやすいと考える。</p> <p>②【どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか】 地域へ移行した部活動の事例について、他の学校や地域のスポーツ団体へ情報を発信することで、移行を促すことに繋がる。</p> <p>③【どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか】 1. 指導者や運営団体の確保 地域のスポーツ団体や関係者の中には、指導を希望する人やクラブ立ち上げなどに興味がある人がいる可能性があり、そういった情報を掴み交渉していく。 2. 費用負担の在り方について 保護者アンケートの中では一定数負担しても良いと思っている保護者がいる一方、費用の負担ができない家庭にも配慮する必要があると回答した人も一定数いる。指導者の謝金や保険料などの最低限必要な費用の負担について保護者を交え検討していく。</p> <p>④【どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか】 学校や地域のスポーツ団体に、地域運動部活動に関する会を定期的で開催し、情報共有や当事者意識を持ってもらう。</p>		

令和3年度地域運動部活動 生徒へのアンケート結果 【63名から回答】

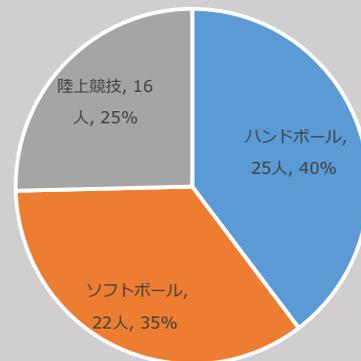
Q1通っている学校



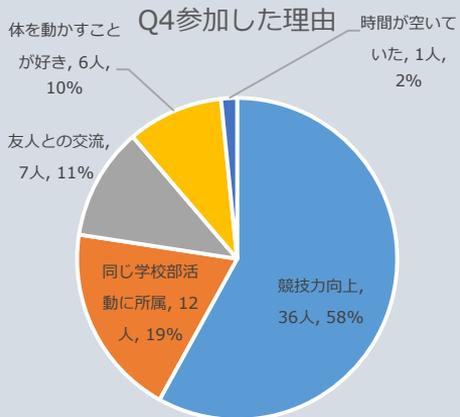
Q2現在の学年



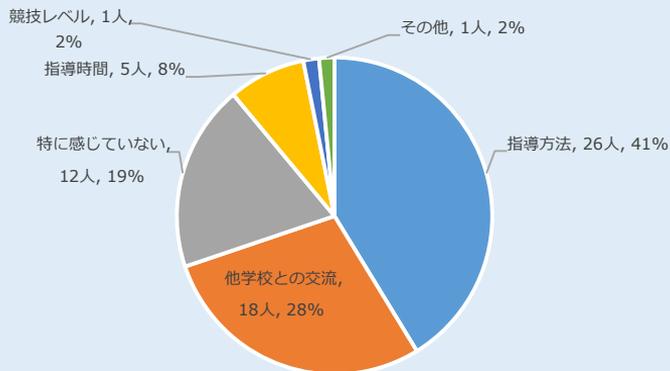
Q3参加している地域部活動



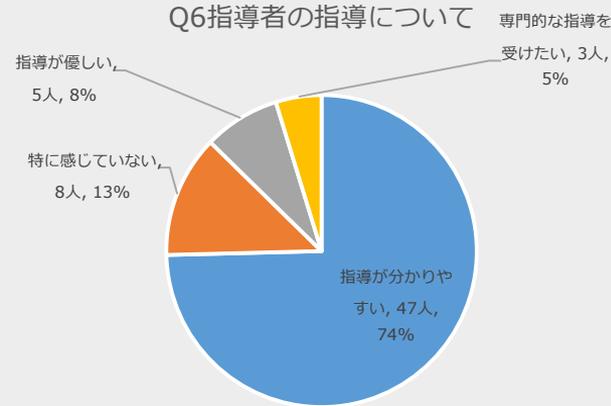
Q4参加した理由

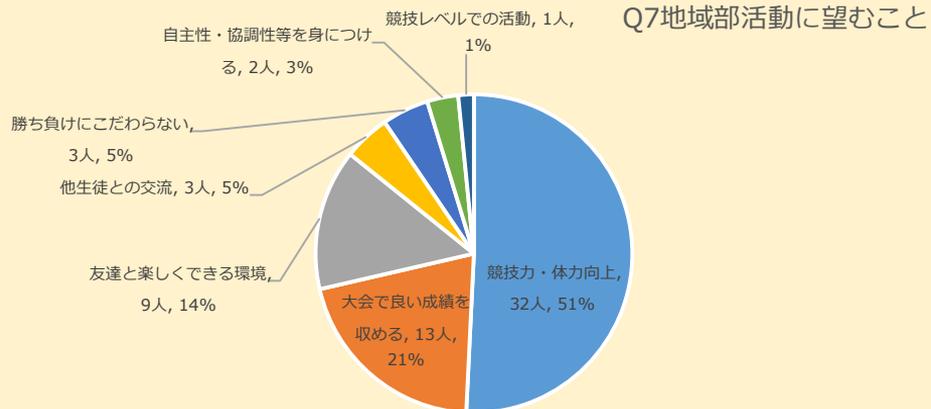


Q5学校と地域の部活動の違い

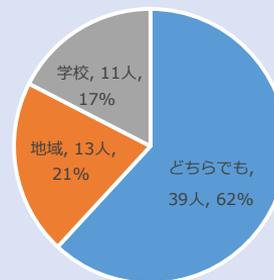


Q6指導者の指導について

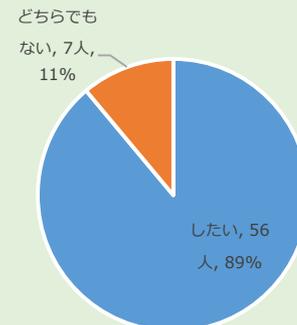




Q8学校の部活動と地域の部活動どちらが良い



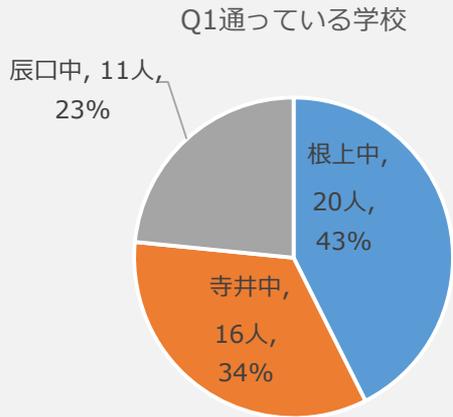
Q9今後も地域部活動に参加したいか



Q10地域運動部活動について思うこと【自由記述】

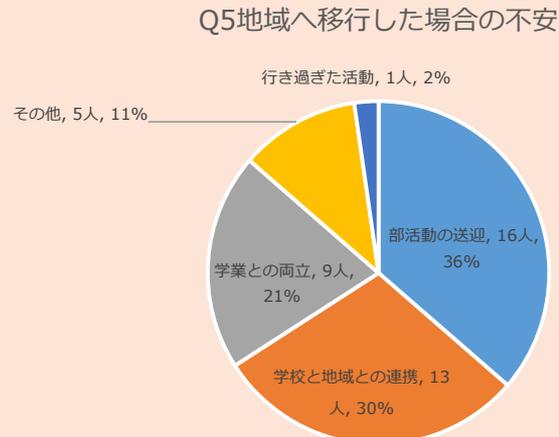
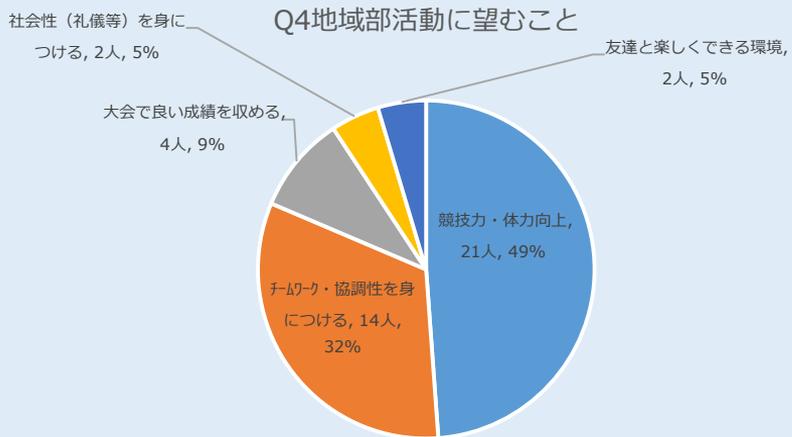
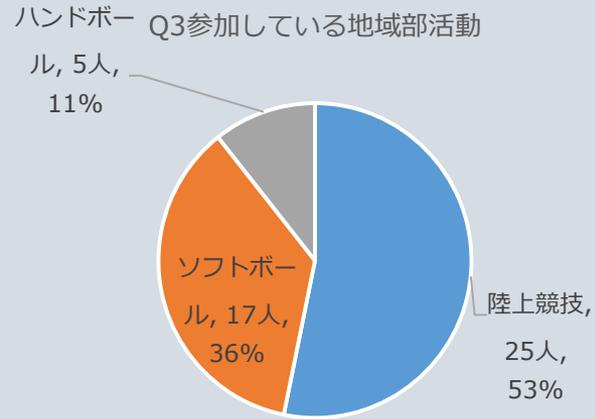
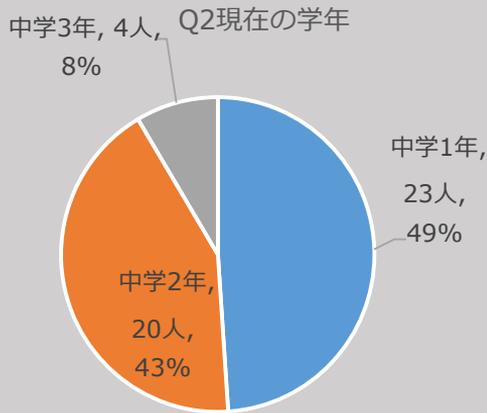
- ・学校では習えないことなどを、個人的に教えて下さるので、分かりやすいですし、自分の成長には必要だなと思います。
- ・楽しい。分かりやすい。
- ・たまには休みが欲しい。
- ・学校では教えてくれない細かいことまで教えてくれていいし、他の学校との交流もできていい。
- ・いろいろな人たちと関われるし、いろんな知識も得ることができてすごくいいと思うし、これからも参加したいと思う。
- ・他校との交流で協力していくことがもっとできるようになって良いと思います。
- ・学校の部活動以外にもハンドボールができるので、たくさん練習ができてとてもいいと思います。
- ・日曜になると毎週疲れるけど楽しみにもなっている。
- ・もっと専門的な技術を学びたい。

令和3年度地域運動部活動



保護者へのアンケート結果

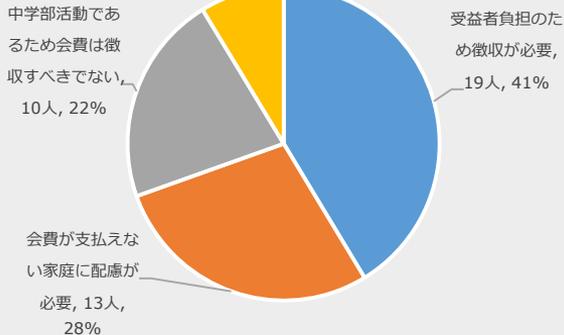
【47名から回答】



Q6地域に参加するための会費について

その他, 4人,

9%



Q7持続可能な部活動の在り方について

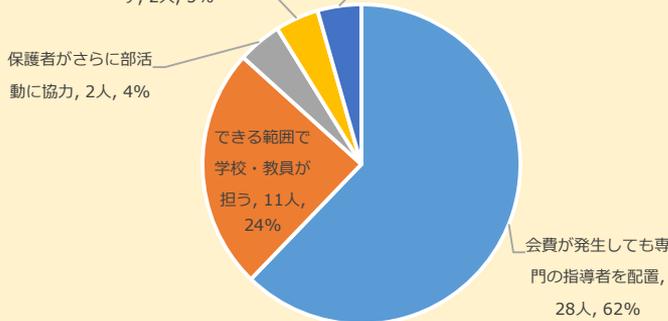
部活動の日数を減らす, 2人, 5%

その他, 2人, 5%

保護者がさらに部活動に協力, 2人, 4%

できる範囲で学校・教員が担う, 11人, 24%

会費が発生しても専門の指導者を配置, 28人, 62%



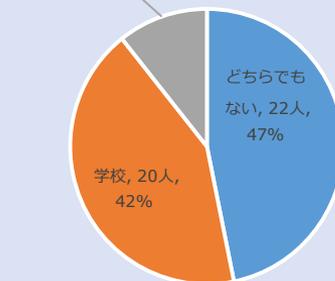
Q8学校の部活動と地域の部活動どちらが良い

動どちらが良い

地域, 5人, 11%

どちらでもない, 22人, 47%

学校, 20人, 42%



Q9地域部活動について思うこと【自由回答】

- ・仮に能美市全体を地域とすると、送迎の負担や、学校の枠組みが外れて責任など曖昧になりそうで不安があります。現在のアカデミーのような位置づけのほうが、まだよい気がします。
- ・専門的に指導してもらえ、子どもも楽しんで行っている。学校では指導してもらえず、経験もなく試合に出て怒られる。子どもは全く楽しめていない。地域活動は個々を丁寧に指導してもらえて初心者にも良い。送迎が少し負担である。
- ・日頃、指導者の方々にご指導いただき、ありがとうございます。子どもは毎日、楽しく参加しており、とても充実した部活動ができていて、とても感謝しています。
- ・子どもにしっかりと休養を取ってほしいので、毎週日曜日となるとかなりきついと思います。月1～2回で良いと思う。
- ・地域部活動のイメージがいまひとつわかりません。学校単位とどのあたりが変わるのか明記しないと回答しづらいです。
- ・部活動の平日の時間が授業終了後となりますが、地域指導者となると、勤務している方がほとんどですが、指導者は確保できますか？土日は可能だと思いますが